

競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）〈要旨〉  
 － 2020年以降を見通した強力で持続可能な支援体制の構築－

※夏季・冬季競技共通

1. 中長期の強化戦略プランの実効化を支援するシステムの確立
    - ハイパフォーマンスセンター\*によるNFへのコンサルテーション等
      - ・JOC・JPC、JSCの協働チームが、NFにおけるシニア・ジュニア（次世代）の一貫指導など、「4年単位・2大会先」を見通した強化戦略プランの策定・更新を支援。
      - ・スポーツ庁等のターゲットスポーツの指定、各種事業の資金配分等に活用。

※「JISS・NTCの連携」及び「JOC・JPC、JSCの連携」のため本年4月にJSCに設置
  2. ハイパフォーマンスセンターの機能強化
    - ①戦略本部（本年5月設置）等の機能強化
      - a) スポーツ・インテリジェンスセンター（仮称）
        - 諸外国のメダル戦略、選手強化方法、用具、急成長中の隠れた選手の情報等の収集分析。
      - b) スポーツ技術・開発センター（仮称）
        - メダル有望競技・アスリートの競技用具等の調整、機能向上、技術開発。
      - c) アスリート・データセンター（仮称）
        - 本人及びNFの新たな強化方法の開発、スポーツ医・科学研究。
    - ②ナショナルトレーニングセンターの拡充整備
      - ・日本初となるパラ仕様の最先端屋内総合トレーニング施設の整備。オリパラ共用。
      - ・少なくとも東京大会の約1年前の開所を目指す。
      - ・国内外のトレーニング場所の確保支援を検討。
  3. アスリート発掘への支援強化
    - 日本体育協会の参画
      - ・都道府県レベルの発掘・種目転向を強力で推進。主としてこれから恒常的なメダル獲得を目指す競技が対象。例えば甲子園やインターハイ等で大会終了を機に引退する選手、ベンチや応援に回った選手などを対象にトライアルを実施。
      - ・発掘の重要性と手法の普及・定着のため、NFや都道府県を対象としたシンポジウムを全国で開催。
  4. 女性アスリートへの支援強化
    - ・女性競技に不足している高水準の競技大会の実施やエリートコーチ育成のためのプログラムを実施し、得られた知見をNFに提供。
    - ・妊娠・出産を含む女性特有の課題に対応した医・科学サポートのためのプログラムを充実し、得られた知見をNFに提供。ハイパフォーマンスセンターによるNFの巡回サポートを実施。
  5. ハイパフォーマンス統括人材育成への支援強化
    - ・世界各国の競技水準を見極め、国際舞台で活躍できる世界トップレベルのコーチであるワールドクラスコーチと、IFのルール変更等に参画するなどの研鑽を積みつつ、強化現場の代表としてNFの運営に関与するハイパフォーマンスディレクターを育成するためのプログラムを実施。得られた知見をNFに提供。
  6. 東京大会に向けた戦略的支援
    - ①「活躍基盤確立期」（2017～2018年度）
      - 「全競技パフォーマンスの最大化」の考えのもと、NFの強化活動を積極的に支援。
    - ②「ラストスパート期」（2019～2020年度）
      - 「メダル獲得の最大化」の考えのもと、支援を柔軟かつ大胆に重点化。
- （パラリンピック競技支援への配慮）
- パラリンピック競技とオリンピック競技の支援内容に差を設けない（オリパラ一体化）。その上で競技特性や競技力強化の環境等に十分配慮した支援が必要。